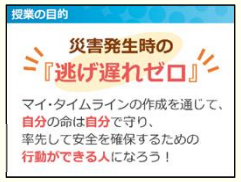
マイ・タイムライン教室の支援内容

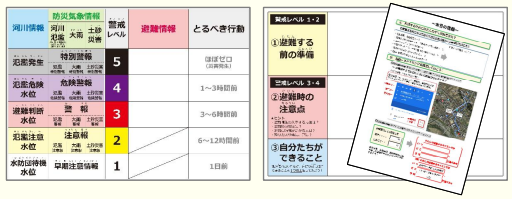
新潟県では、水防災教育の自校化を目指し、以下の支援を行っています。
まずは、お気軽に下記のお問合せ先までご連絡ください。

授業教材の作成・提供

地域の特性や災害の特徴を学習できる教材を、地域に応じて作成します。

説明資料▶
（パワーポイント）





▲ワークシート類

指導書の作成

授業のシナリオや説明のポイントなどをまとめた指導書を作成します。

指導書▶

専門講師の派遣

水防災を専門とする県の職員や防災士を派遣して、授業の運営をサポートします。

※授業教材や指導書等の詳しい内容は、新潟県ホームページで紹介しています。

新潟県ホームページ
（マイ・タイムラインのページ）▶ https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kasenkanri/niigatamytimeline.html

QRコード

授業を実施した学校の生徒・先生からの声

津南町立 津南町中学校 1年生（生徒48名）

生徒

- 私の住む地域がとても危険ということが分かり、避難する場所もちゃんと確認できた。 親とも一緒に確認しながら、いざという時に役立てたい。
- 雨量や河川水位などを調べる方法を知ることができたので、雨がたくさん降る時に対応できるようにしたいです。
- マイ・タイムラインを書いて、自分がこれからやるべきことを確認できました。 3時間で災害のことに詳しくなり、とても楽しかったです。

先生

- マイ・タイムラインの作成を通じて、「自分の命は自分で守る」、「逃げ遅れゼロ」につなげようとする生徒の姿勢が見られました。グループワークでも想像以上に多くの意見が出て、３時間の授業の成果を感じました。

村上市立 村上第一中学校 1年生（生徒81名）

生徒

- いつ起こるか分からない災害に備え、ハザードマップを見て、避難場所や安全な避難ルートを知っておくことが大切だと思いました。
- リアルタイムで河川の水位などを調べることができるのはすごいと思いました。 自分の家だけではなく、近くの自然にも注意して生活したいです。
- マイ・タイムライン教室を通じて、災害のときの動きや準備するものが分かった。 いつ、どこで災害が起きても動けるようにしたい。

先生

- 避難時の準備や注意点について、グループで話し合い、しっかりとまとめることができていました。ハザードマップやタブレットを使用して災害時に必要な情報を調べることは、生徒にとって貴重な機会になったと思います。

お問合せ先
新潟県土木部河川管理課・砂防課

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1
TEL： 025-280-5414（河川管理課直通）
025-280-5424（砂防課直通）
FAX： 025-283-6517

令和８年７月作成

みずから避難で命を守ろう！

～ 新潟県 マイ・タイムライン教室 ～

新潟県では、近年の想定を上回る洪水・土砂災害から、主体的な避難行動により、人命を守るため、**中学生・高校生を対象とした水防災教育を支援**しています。

生徒一人ひとりが災害リスクを「我がこと」として捉えられるように、**総合学習等の時間を使って、自分の避難行動計画である『マイ・タイムライン』を作成**してみませんか？

マイ・タイムラインを作成した記念撮影（津南中学校）

マイ・タイムライン教室とは・・

マイ・タイムライン教室は、座学やグループワークを通じて、**災害に関する基本的な知識や安全を確保するための避難行動**などを学びながら、**マイ・タイムラインをつくり上げる**ものです。

本教室では、全2回の授業でマイ・タイムラインの完成を目指します。

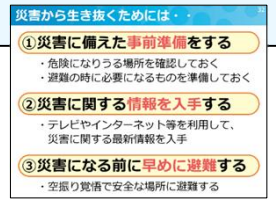
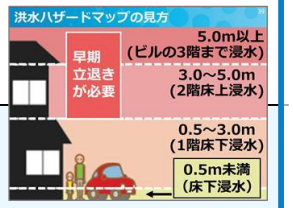
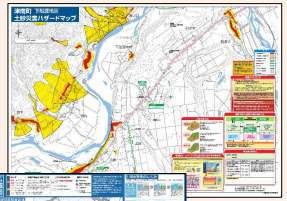
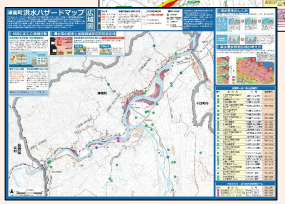
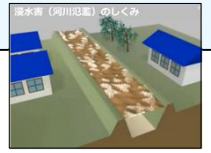
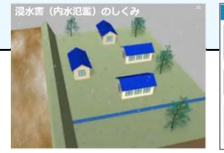
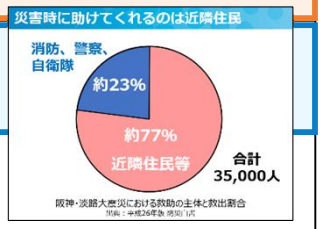
第１回
自分が住む地域の特徴と、ハザードマップを学ぼう

第２回
警戒レベルの意味を理解し、豪雨時に得るべき情報を調べよう

マイ・タイムラインとは、風水害時に「いつ」「何をするか」を整理した、**個人の防災計画**のこと

マイ・タイムラインと各回の授業対象範囲

マイ・タイムライン教室の内容

- １時間の授業を２回行います。 ※計３回の構成に変更することも可能です。
- 第１回と第２回授業の終わりに、家族と一緒に避難行動について考える宿題を用意しています。

授業時間	回	第1回　自分が住む地域の特徴と、ハザードマップを学ぼう	第2回　警戒レベルの意味を理解し、豪雨時に得るべき情報を調べよう
	授業のねらい	●身近な災害リスクを認知し、マイ・タイムラインの必要性を理解する。	●危険をみずから察知し、率先して避難行動することの重要性を理解する。 ●具体的な行動内容を考え共有し、自助意識・共助意識を育む。
	準備するもの	●マイ・タイムライン（全２回に渡って使用）　●洪水ハザードマップ ●土砂災害ハザードマップ　●映像機器（パソコン・プロジェクター・スクリーン）　など	●マイ・タイムライン（全２回に渡って使用）　●避難行動組合せゲーム表/カード　●グループワーク表/記入用マジック ●タブレット端末　●映像機器（パソコン・プロジェクター・スクリーン）　など
0:00	座学	**①目的・２回の流れ** 授業の目的と全2回の流れを説明します。	**①目的・２回の流れ**
0:05		**②地域の特徴** 人口や地形・産業など、地域の特徴を説明します。	**②水害・土砂災害のしくみ** 洪水や浸水害が発生するしくみを動画で解説します。
0:10		**③過去の災害と防災施設** 大雨や台風、土砂災害など、過去に発生した災害と、災害を防ぐための防災施設を紹介します。	**③警戒レベル、避難情報、避難行動の組合せゲーム** 警戒レベルに応じた各種情報（河川情報、防災気象情報、避難情報）と避難行動の組合せを考えるゲームをします。
0:15		**④災害から生き抜く方法** 災害で犠牲者が出た事例を紹介し、逃げ遅れてしまう理由と災害から生き抜く方法を説明します。	**④避難行動につながる情報の調べ方** 実際に情報を収集する方法を紹介します。
0:20			**避難の準備や避難時の注意点を共有しよう！** **A.グループワーク表の記入** 各班で以下の３つの内容について、話し合って表にまとめます。 ●**避難する前の準備** ●**避難時の注意点**　（考える際のヒントを準備しています） ●**自分たちができること** （逃げ遅れないために、日頃からできることを1つ以上の意見を出す）
0:25		**⑤ハザードマップの見方** 浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの見方を解説します。	
0:30	グループワーク	**洪水・土砂災害ハザードマップを確認しよう！** 洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップを見ながら、マイ・タイムラインに記載してある以下の項目を記入します。 ●**あなたの家は「浸水区域」に入っていますか？** ●**あなたの家は「土砂災害区域」等に入っていますか？** ●**あなたの「避難場所」はどこですか？**	**B.成果の発表** 各班の代表者が、成果を発表します。
0:35			
0:40			**C.マイ・タイムラインの仕上げ** 各班の成果の発表を聞いて、自分のタイムラインに必要だと思ったことを追加して、マイ・タイムラインを仕上げます。
0:45			**③「助けられる側」から「助ける側」へ** 災害時に、中学生が「助けられる側」から「助ける側」になった参考事例を紹介します。
0:50	宿題	**避難できる準備をしよう！** ●「避難に時間がかかる人はいますか？」と「非常持出品を準備しよう！」を家族で確認し、記入します。 ●避難場所の災害リスクについても確認しよう。	**これまでの防災学習を「家族会議」で共有しよう！** ●家族の方と、作成したマイタイムラインを共有し、避難行動につながる情報を調べたり、必要な準備、家族のルールなどについて話し合いましょう。